

文章完成法による妊婦の母親像

佐々木敦子 武井とし子 三輪百合子

The maternal image of pregnant women by SCT

The ties that bind mothers and their children together are established at the earlier stage of pregnancy. Motherhood develops mentally through physical interaction during ten months (40weeks) until delivery.

This time we have investigated pregnant women's awareness as a mother by SCT, one of the popular methods of psychological tests, using short sentences in seven fields of 38 items. We classified and studied the responses and found the entire maternal image.

Ninety-three pregnant women, 36 primiparae and 57 multiparae, who were pregnant more than 36 weeks, were investigated.

In the first field, 58.1% of mothers were glad to find out their pregnancy, while 10.8% of mothers were anxious and 5.4% were perplexed or worried about it. In the second field, 53.8% of mothers felt difficulties in nursing babies and 4.3% felt anxious. In the sixth field, 19.4% of mothers did not try to behave positively when they were in troubles. Those mothers are necessary to learn to acquire better human relationships.

In every item, most mothers accepted their pregnancy with a positive attitude and tried to become good mothers. Some of them, however, had a negative feelings, such as anxiety and worries.

It is important for us to find the solution of the problems both collectively and individually, basing on the synthetic and adequate understanding of the backgrounds and feelings of pregnant women.

Key words: mother hood, psychological test, anxiety

はじめに

妊娠については、今日では非常に早期に確認が可能となり、超音波によって視覚により胎児の存在を認識することができるようになった。即ち生理的な相互作用と共に心理的に

も妊婦と胎児の結び付きは、胎動自覚以前より早期に発達がみられる。

この結び付きの状態を、文章完成法 (SCT) を用いることによって母親像を明らかにして、母性確立の援助に役立てることを目的とした。

方法と対象

文章完成法とは、臨床心理検査法の一技法として広く用いられており、未完成の短い文章を刺激として提示し、それに対して連想される自由な内容を付け加えて文章を完成させるものである。

今回は、妊娠期の母子関係に焦点をあてた川井尚¹⁾らの研究をもとに、7領域について38項目にわたりその感情を短文にして記述させ、その反応を集約分類し、母親意識の全貌を明らかにすることとした。

領域及び項目として

領域Ⅰ 母親と胎児の関係

- (1) 初めて妊娠に気付いたとき私は
- (2) おなかが大きくなってくると
- (3) 出産
- (4) 妊娠して私が変わったことは
- (5) おなかの赤ちゃんが動くと
- (6) 私はおなかの赤ちゃんに対して

領域Ⅱ 母親と子供の関係

- (1) 私は子供と
- (2) 子供を育てることは
- (3) 私の子供はきっと
- (4) 子供が泣きやまないと
- (5) 私は母親として

領域Ⅲ 父親と子供の関係

- (1) 赤ちゃんが生まれると聞いて夫は
- (2) 夫はおなかの赤ちゃんに対して
- (3) 夫と子供は

領域Ⅳ 夫婦の関係

- (1) 夫と私は
- (2) 夫に対して私は
- (3) 私が妊娠して夫が変わったことは

領域Ⅴ 女性性

- (1) もし私が男だったら
- (2) 私は女として

- (3) 乳房
- (4) 私のからだは
- (5) 性

領域Ⅵ 母親自身のこと

- (1) 私は子供の頃
- (2) 私と兄弟は
- (3) 私が泣きたくなるのは
- (4) 心配なことは
- (5) 私は将来
- (6) 困り果てたとき私は
- (7) 仕事
- (8) 親友は
- (9) 夫の親と私は

領域Ⅶ 母親自身の親子関係

- (1) 母は
- (2) 私は母と
- (3) 母に甘えたこと
- (4) 父は
- (5) 私は父と
- (6) 父に甘えたこと
- (7) 父と母は

対象は、信州大学病院産科に受診中の妊娠36週以降の妊婦93名であり、内初妊婦は36名、経妊婦は57名である。

結 果

集計については、初妊婦経妊婦別に分類し、反応内容はポジティブな反応については(+), ネガティブな反応については(-), どちらともいえない反応については(±)とした。

1. 領域Ⅰ 母親と胎児の関係について

(1) 初めて妊娠に気付いたとき私は(表Ⅰ-1)
妊娠の受け入れができている(+の反応は65.6%で、内58.1%が「うれしかった」との反応であった。不安と期待の入り交じった反応が18.3%にみられ、出産を前にした妊婦の揺れ動く感情が現れている。(-)の反応は16.1

表 I-1 領域 I 母親と胎児の関係

項目 初めて妊娠に気付いたとき私は

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	うれしかった	55.6		59.6		58.1	
	驚いた	11.1	69.5	1.8	63.2	5.4	65.6
	慎重にした	2.8		1.8		2.2	
±	不安と期待	19.4	19.4	17.5	17.5	18.3	18.3
-	不安・心配	8.3		12.3		10.8	
	悩んだ, 迷った	2.8	11.1	7.0	19.3	5.4	16.1
Rej (反応のないもの)		0.0		0.0		0.0	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表 I-2 領域 I 母親と胎児の関係

項目 おなかが大きくなってくると

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	喜び, 誇り, 期待	16.7		21.1		19.4	
	胎児の存在感	13.9	47.3	17.5	45.6	16.1	46.3
	母となる実感	16.7		7.0		10.8	
±	不安と期待	8.3		12.3		10.8	
	その他	11.1	19.4	1.8	14.0	5.4	16.1
-	行動が不自由	25.0		36.8		32.3	
	恥ずかしい, 後悔	5.6	33.3	1.8	40.4	3.2	37.6
	だんだん不安	2.8		1.8		2.2	
Rej (反応のないもの)		0.0		0.0		0.0	
合 計		100.0		100.0		100.0	

%で、内「不安、心配」が10.8%、「悩んだ、迷った」が5.4%であった。(+)の反応の内「不安、心配」は、妊婦の持つ一般的な感情として受け止めることができるが、「悩んだ、迷った」は、基本的に妊娠の受け入れができていない反応と考えられる。これは特に経妊婦に多い傾向がみられた。

(2) おなかが大きくなってくると (表 I-2)

(+)の反応は46.3%で、内「妊娠の喜び、誇り、期待」が19.4%、「胎児の存在感」が

16.1%、「母となる実感」が10.8%であった。妊娠を負担に感じていると思われる(-)の反応は37.6%にみられ、そのほとんどが行動の不自由を訴えている。これはこの調査が妊娠10カ月に実施されたためとも考えられる。また妊娠10カ月にしてまだ後悔の念を抱いているものもあり、出産後の児の受け入れに対し問題を残すケースと思われる。

(3) 出産 (表 I-3)

出産に対して意欲的と思われる(+)の反応は43.0%で、内「幸せ、喜び、楽しみ」が16.1

表 I-3 領域 I 母親と胎児の関係
項目 出産

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	幸せ, 喜び, 楽しみ	16.7	33.3	15.8	49.1	16.1	43.0
	頑張ろうと思う	8.3		14.0		11.8	
	安産にすませたい	5.6		8.8		7.5	
	元気に生まれて欲しい	2.8		10.5		7.5	
±	不安と期待	11.1	13.9	10.5	21.1	10.8	18.3
	その他	2.8		10.5		7.5	
-	不安	44.4	52.8	8.8	29.8	22.6	38.7
	大変なこと	8.3		21.1		16.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		0.0		0.0	
合 計		100.0		100.0		100.0	

%, 「頑張ろうと思う」が11.8%であった。
(-)の反応は38.7%で、内「不安」が22.6%、
「大変なこと」が16.1%であった。初経妊婦
別にみると、(+)の反応では大差はないが、
(-)の反応では、初妊婦は「不安」と感じて
いるものが多く、経妊婦は「大変なこと」と

受け止めているものが多かった。これは、初
妊婦の場合未知の体験に対する感情の現れで
あり、経妊婦の場合は過去の体験に伴う感情
の現れと判断できる。

(4) 妊娠して私の変わったことは(表 I-4、
表 I-5)

表 I-4 領域 I 母親と胎児の関係
項目 妊娠して私が変わったことは (1)

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	母として成長した	11.1	41.7	19.3	33.3	16.1	36.5
	精神的に安定した	19.4		5.3		10.8	
	児に対し配慮するようになった	11.1		8.8		9.7	
±	特に変化なし	16.7	27.8	22.8	35.1	20.4	32.3
	その他	11.1		12.3		11.8	
-	精神的に不安定になった	19.4	30.5	17.5	29.8	18.3	30.1
	太った	8.3		7.0		7.5	
	動きがにぶくなった	2.8		5.3		4.3	
Rej (反応のないもの)		0.0		1.8		1.1	
合 計		100.0		100.0		100.0	

(+)の反応は36.5%で、内「母として成長
した」16.1%、「精神的に安定した」10.8%、
「児に対し配慮するようになった」9.7%で

あった。(-)の反応は30.1%で、「精神的に不
安定になった」18.3%、「太った」7.5%、「動
きが鈍くなった」4.3%であった。初経妊婦

表 I-5 領域 I 母親と胎児の関係

項目 妊娠して私の変わったことは (2)

反 応 内 容			初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
精 神 的	-	不安定になった	19.4	61.1	17.5	50.8	18.3	54.8
		母として成長した	11.1		19.3		16.1	
	+	安定した 児に対し配慮するよう になった	19.4 11.1		5.3 8.8		10.8 9.7	
身 体 的	-	太 っ た	8.3	11.1	7.0	12.3	7.5	11.8
		動きがにぶくなった	2.8		5.3		4.3	
他	±	特に変化なし	16.7	27.8	22.8	35.1	20.4	32.3
		そ の 他	11.1		12.3		11.8	
Rej (反応のないもの)			0.0		1.8		1.1	
合 計			100.0		100.0		100.0	

別にみると、「精神的に安定した」との反応は初妊婦に多くみられた。また「特に変化なし」との反応が20.4%であった。全体的に精神的変化の反応は54.8%と多く、(+)(-)両面の反応がみられるが、身体的変化は11.8%でほとんどが(-)の反応であった。

(5) おなかの赤ちゃんが動く (表 I-6)

(+)の反応は89.2%とほとんどを占めており、その内容は「赤ちゃんの存在感」39.8%、「うれしい、待ちどろしい」36.6%、「母親の実感」12.9%であった。また胎児の動きに対して全く反応を示さないものが2.2%あった。

初経妊婦別では「母の実感」が初妊婦に多く、初めて母親になることへの思いが感じられる。

(6) 私はおなかの赤ちゃんに対して (表 I-7)

(+)の反応が88.1%と多くを占めていた。その内容は「元気に生まれ育って欲しい」33.3%、「責任を感じる」19.4%、「愛情を感じる」18.3%、「待ちどろしい」11.8%であり、子供に対する愛情と、親としての責任を感じさせる。また「どんな母親になるか心配」が4.3%あり、これも親としての責任を感じる。が故の不安の表現と思われる。

表 I-6 領域 I 母親と胎児の関係

項目 おなかの赤ちゃんが動く

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	赤ちゃんの存在感	44.4	88.9	36.8	89.4	39.8	89.2
	うれしい、待ちどろしい	25.0		43.9		36.6	
	母親の実感	19.4		8.8		12.9	
±	大 変	2.8	8.3	5.3	8.8	4.3	8.6
	こんなに動いて大丈夫?	2.8		1.8		2.2	
	不 思 議	2.8		1.8		2.2	
Rej (反応のないもの)		2.8		1.8		2.2	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表I-7 領域I 母親と胎児の関係

項目 私はおなかの赤ちゃんに対して

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	元気に生まれ育ってほしい	30.6		35.1		33.3	
	責任を感じる	19.4		19.3		19.4	
	愛情を感じる	25.0	86.1	14.0	89.4	18.3	88.1
	待ちどろしい	11.1		12.3		11.8	
	上の子ほどかまってやれない	0		8.8		5.4	
士	そ の 他	2.8	2.8	1.8	1.8	2.2	2.2
-	どんな母親になるか心配	2.8	2.8	5.3	5.3	4.3	4.3
Rej (反応のないもの)		8.3		3.5		5.4	
合 計		100.0		100.0		100.0	

以上、領域I母親と胎児の関係についてまとめとめてみる。

ほとんどの人が子供への愛情と母親としての自覚を表現しており、妊娠、出産をポジティブに受け止めている。また不安や心配の反応もあり、親となり子供を育てることへの責

任を強く感じているための表現と思われる。しかし、妊娠したことを悩んだり、出産間近の10カ月になっても後悔の気持ちがあるなど、児の受け入れができていないものがあることは問題である。初経妊婦別にみると、初妊婦は母親になることへの実感が強く、精神的安

表II-1 領域II 母親と子供の関係

項目 私は子供と

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	一緒に仲よく遊ぶ	33.3		38.6		36.6	
	友達、兄弟のように	19.4		8.8		12.9	
	共に成長する	5.6		12.3		9.7	
	過す時間を多く持つ	11.1		5.3		7.5	
	大切な存在	2.8	80.6	8.8	92.9	6.5	88.1
	夫を大切にし共に生きる	2.8		5.3		4.3	
	いろいろ話したい	5.6		1.8		3.2	
	怒りんぼと笑われる	0.0		5.3		3.2	
	次は女の子だといいいね	0.0		5.3		3.2	
	似ている	0.0		1.8		1.1	
士	どうするか考えている	11.1		0.0		4.3	
	家に帰る	0.0	11.1	1.8	1.8	1.1	5.4
-	母子家庭のよう	0.0		1.8		1.1	
	母親失格	0.0	0.0	1.8	3.5	1.1	2.2
Rej (反応のないもの)		8.3		1.8		4.3	
合 計		100.0		100.0		100.0	

定感をもつ反面、出産という未知の体験に対する不安等観念的な反応が多い。しかし、経妊婦は、おなかが大きくなることによる行動の不自由さ、出産の大変さ等現実的な面での反応が多くみられた。

2. 領域Ⅱ 母親と子供の関係について

(1) 私は子供と(表Ⅱ-1)

(+)の反応は88.1%で、その内容は「一緒に仲よく遊ぶ」36.6%、「友達、兄弟のように」12.9%、「共に成長する」9.7%等である。

(-)の反応は2.2%で、内容は「母子家庭のよう」「母親失格」であった。

(2) 子供を育てることは(表Ⅱ-2)

(+)の反応39.8%に対し、(-)の反応は58.0

表Ⅱ-2 領域Ⅱ 母親と子供の関係
項目 子供を育てることは

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	大変だが楽しみ	2.8	30.6	31.6	45.6	20.4	39.8
	大変だが頑張る	16.7		1.8		7.5	
	楽 し み	8.3		5.3		6.5	
	自分も成長する	2.8		7.0		5.4	
±	そ の 他	0.0	0.0	3.5	3.5	2.2	2.2
-	苦 労	61.1	69.4	49.1	50.9	53.8	58.0
	不 安	8.3		1.8		4.3	
Rej (反応のないもの)		0.0		0.0		0.0	
合 計		100.0		100.0		100.0	

%と多くなっている。(+)の内容は「大変だが楽しみ」20.4%、「大変だが頑張る」7.5%、「楽しみ」6.5%であり、(-)の内容は「苦労」53.8%、「不安」4.3%である。初経妊婦別にみると、初妊婦は大変だが頑張ろうという意欲がみえる反面、漠然とした不安を持っていることがわかる。経妊婦は現在の育児経験を通して、大変だが楽しみと考えることがわかる。

(3) 私の子供はきっと(表Ⅱ-3)

(+)の反応は91.4%とほとんどを占めている。その内容の主なものは「元気ですくすく育つ」34.4%、「かわいい子」10.8%であった。(-)の反応は6.4%とわずかながらみられ、その内容は「気の小さい子、泣き虫」「気の強い子、わがまま」等であった。

(4) 子供が泣きやまないと(表Ⅱ-4)

(-)の反応が87.1%を占めている。内容は「心配、不安」22.6%、「悲しくなる」15.1%のように、泣きやまぬ子供に対し母親として対応を苦慮しながらも、子供の存在を受容した感情の表現と考えられる。しかし「イライラする」12.9%、「時々頭にくる」5.4%、「うるさく感ずる」「いやになる」2.2%等は、子供に対する非受容的な感情の表現と思われる。(+)の反応としては「抱いてあげる」7.5%とわずかではあるが、子供への直接的愛着行動としての表現がみられた。初経妊婦別にみると、経妊婦の場合子供に対する非受容的な感情表現が多い反面、直接的愛着行動の表現も多くみられた。初妊婦の場合「悲しくなる」「困る」「一緒に泣く」等自分自身の当惑の表

表Ⅱ-3 領域Ⅱ 母親と子供の関係
項目 私の子供はきっと

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	元気ですくすく育つ	27.8		38.6		34.4	
	かわいい子	25.0		1.8		10.8	
	よい子	5.6		10.5		8.6	
	父親似	8.3		5.3		6.6	
	いたずらっ子	5.6		5.3		5.4	
	男の子, 女の子	2.8		5.3		4.3	
	おとなしい	0.0		5.3		3.2	
	やさしい	0.0	88.9	5.3	92.9	3.2	91.4
	甘えん坊	5.6		1.8		3.2	
	太っている	5.6		1.8		3.2	
	かしこい	0.0		3.5		2.2	
	離れていく	0.0		3.5		2.2	
	よく食べる子	2.8		0.0		1.1	
	がんばりや スポーツマン	0.0		1.8		1.1	
-	気の小さい子, 泣き虫	2.8		1.8		2.2	
	気の強い子, わがまま	2.8	8.3	1.8	5.3	2.2	6.4
	気が短い子	0.0		1.8		1.1	
	わからない	2.8		0.0		1.1	
Rej (反応のないもの)		2.8		1.8		2.2	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表Ⅱ-4 領域Ⅱ 母親と子供の関係
項目 子供が泣きやまないと

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)		
+	抱いてあげる	2.8	2.8	10.5	10.5	7.5	7.5	
±	そ の 他	2.8	2.8	3.5	3.5	3.2	3.2	
-	受 容 的	心配, 不安	22.2		22.8		22.6	
		悲しくなる	19.4		12.3		15.1	
		困るだろう	19.4		3.5		9.7	
		一緒に泣く	11.1	77.7	1.8	43.8	5.4	57.0
		つい子供のいいなり	0.0		3.5		2.2	
		どうしたらいいのか	5.6		0.0		2.2	87.1
-	非 受 容 的	イライラする	5.6		17.5		12.9	
		泣かせておく	2.8		10.5		7.5	
		時々頭にくる	2.8	13.9	7.0	40.4	5.4	30.1
		うるさく感ずる	0.0		3.5		2.2	
		いやになる	2.8		1.8		2.2	
Rej (反応のないもの)		2.8		1.8		2.2		
合 計		100.0		100.0		100.0		

表Ⅱ-5 領域Ⅱ 母親と子供の関係
項目 私は母親として

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	よい母親になるよう努めたい	27.8		12.3		18.3	
	できるだけことはしたい	13.9		12.3		12.9	
	子供と共に成長したい	8.3		5.3		6.5	
	強くなりたい	5.6	61.1	3.5	47.4	4.3	52.7
	まあまあ	2.8		5.3		4.3	
	甘いかもしれない	0.0		5.3		3.2	
	少しきびしくありたい	0.0		3.5		2.2	
ヒステリーは起さない	2.8		0.0		1.1		
士	そ の 他	8.3	8.3	8.3	8.8	8.6	8.6
-	まだまだよい母親になれない	2.8		33.3		21.5	
	無事育てられるか心配	25.0	27.8	7.0	40.3	14.0	35.5
Rej (反応のないもの)		2.8		3.5		3.2	
合 計		100.0		100.0		100.0	

現が多くみられた。

(5) 私は母親として (表Ⅱ-5)

(+)の反応が52.7%で、その内容は「よい母親になるよう努めたい」18.3%、「できるだけことはしたい」12.9%、「子供と共に成長したい」6.5%が主なものであった。

(-)の反応は35.5%で、内容は「まだまだよい母親になれない」21.5%、「無事育てられるか心配」14.0%であった。初経妊婦別にみると(-)の反応が特徴的で、初妊婦は「無事育てられるか心配」が多く、未知の体験への不安をのぞかせている。経妊婦は「まだまだよい母親になれない」が多く、自分の現在の育児態度への反省がみられる。

以上、領域Ⅱ母親と子供の関係についてまとめてみる。

(1)私は子供と、(3)私の子供はきつとの反応のように、子供に対する愛着の感情としては、ほとんどの人が(+)の反応を示している。しかし、(2)子供を育てることは、(4)子供が泣きやまないとの反応のように、子供に対する愛

着の行動の面では(-)の反応が多くなっている。これは子供との関係や子供に対する期待が大きいだけに、子供を育てることへの責任の重さを感じている結果と思われる。また“子供の泣き”に対する否定的な感情表現が、経妊婦に多いことが注目される。(5)私は母親としてでは、育児に対する不安や現在の育児態度を反省しつつ、よい母親になろうという努力目標が示されている。

3. 領域Ⅲ 父親と子供の関係について

(1) 赤ちゃんが生まれると聞いて夫は (表Ⅲ-1)

(+)の反応が93.5%で、その内容は「喜んだ、うれしい」が83.9%とほとんどを占めていた。

(-)の反応は6.5%であり、「不安がある、複雑」4.3%、「困惑、早すぎた」2.2%にみられた。

(2) 夫はおなかの赤ちゃんに対して (表Ⅲ-2)

(+)の反応は65.6%で、内容は「話しかける、さわる」31.2%の子供に対する愛着行動と、「名前をつけて楽しみにしている」14.0%の愛

表Ⅲ-1 領域Ⅲ 父親と子供の関係

項目 赤ちゃんが生まれると聞いて夫は

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	喜んだ, うれしい	83.3	94.4	84.2	93.0	83.9	93.5
	家族と共に喜んだ	8.3		3.5		5.4	
	女の子がよいと言った	2.8		3.5		3.2	
	ボ -	0.0		1.8		1.1	
-	不安がある, 複雑	5.6	5.6	3.5	7.0	4.3	6.5
	困惑, 早すぎた	0.0		3.5		2.2	
Rej (反応のないもの)		0.0		0.0		0.0	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表Ⅲ-2 領域Ⅲ 父親と子供の関係

項目 夫はおなかの赤ちゃんに対して

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	話しかける, さわる	55.6	80.6	15.8	56.1	31.2	65.6
	名前をつけて楽しみにしている	8.3		17.5		14.0	
	男の子, 女の子	2.8		12.3		8.6	
	五体満足を願う	5.6		7.0		6.5	
	よい父親をめざす	5.6		0.0		2.2	
	まあまあの愛情	2.8		1.8		2.2	
	協力的	0.0		1.8		1.1	
-	無 関 心	2.8	11.1	33.3	42.1	21.5	30.1
	心 配	8.3		8.8		8.6	
Rej (反応のないもの)		8.3		1.8		4.3	
合 計		100.0		100.0		100.0	

着感情の表現が主なものであり、(-)の反応は30.1%で、「無関心」21.5%、「心配」8.6%であった。初妊婦別にみると、(+)の反応では初妊婦に「話しかける、さわる」の直接的愛着行動の表現が多く、経妊婦は「楽しみにしている」の愛着感情の表現が多くみられた。また経妊婦は子供の性別についても関心を示していることがうかがえる。(-)の反応では、無関心を示しているのは経妊婦に多くなっている。

(3) 夫と子供は(表Ⅲ-3)

(+)の反応が87.0%で、内容は「仲よし」45.2%、「大切な宝物」17.2%、「兄弟、友達のような関係」9.7%が主なものであった。(-)の反応は6.5%にみられ、「親しみが無い」3.2%、「世話がかかる」1.1%等であった。

以上、領域Ⅲ父親と子供の関係についてまとめてみる。

(1)赤ちゃんが生まれると聞いて夫は、(2)夫はおなかの赤ちゃんに対してでは、妻からみて多くの夫は妊娠を喜び、父親になることを楽しみにしていることがうかがえる。また初

表Ⅲ—3 領域Ⅲ 父親と子供の関係
項目 夫と子供は

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)			
+	仲よし, よい親子	47.2		43.9		45.2			
	大切な宝物	16.7		17.5		17.2			
	兄弟, 友達のような関係	8.3		10.5		9.7			
	スキンシップを大切にす	5.6	86.1	5.3	87.7	5.4	87.0		
	話し合える関係	5.6		3.5		4.3			
	応援, 協力してくれる	0.0		5.3		3.2			
	幸せになってほしい	0.0		1.8		1.1			
	甘やかすそう	2.8		0.0		1.1			
親しみが	2.8			3.5				3.2	
世話がかかる	0.0	5.6		1.8		7.0		1.1	6.5
夫にも面倒みてもら	0.0			1.8				1.1	
わからない	2.8		0.0	1.1					
Rej (反応のないもの)		8.3		5.3		6.5			
合 計		100.0		100.0		100.0			

妊婦の夫では愛着の行動が多く、経妊婦の夫では無関心を示すものが多いことが特徴である。(3)夫と子供はでは、夫と子供のよい関係を願う気持ちと、夫と子供を大切に思う妻として母親としての感情が現れている。

4. 領域Ⅳ 夫婦の関係について

(1) 夫と私は (表Ⅳ—1)

(+)の反応が92.4%を占めている。その内

容は「仲がよい」66.7%, 「関係がよくなった」20.4%が主なものであった。(一)の反応も5.4%みられ, 「別居中」「親になることが心配」「もう少し話し合いたい」等の内容であった。

(2) 夫に対して私は (表Ⅳ—2)

(+)の反応は70.9%で, 内容は「よい妻」20.4%, 「甘えている」12.9%, 「尊敬, 感

表Ⅳ—1 領域Ⅳ 夫婦の関係
項目 夫と私は

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	仲がよい	63.9		68.4		66.7	
	関係がよくなった	27.8	94.4	15.8	91.2	20.4	92.4
	二人で頑張る	2.8		3.5		3.2	
	空気のような関係	0.0		3.5		2.2	
別 居 中	2.8			1.8			
-	親になることが心配	0.0	2.8	1.8	7.0	1.1	5.4
	もう少し話し合いたい	0.0		1.8		1.1	
	私がふけている	0.0		1.8		1.1	
Rej (反応のないもの)		2.8		1.8		2.2	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表IV-2 領域IV 夫婦の関係
項目 夫に対して私は

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	よ い 妻	25.0		17.5		20.4	
	甘 えている	13.9		12.3		12.9	
	尊敬, 感謝, 大切	8.3		14.0		11.8	
	もう少しかまってあげよう	11.1	75.0	7.0	68.4	8.6	70.9
	頼りにしている	8.3		7.0		7.5	
	家族のために頑張る	2.8		7.0		5.4	
	健康であって欲しい	2.8		1.8		2.2	
言うことなし	2.8	1.8		2.2			
±	遊ぶ時間がほしい	0.0	0.0	1.8	3.5	1.1	2.2
	頼 ら な い	0.0		1.8		1.1	
-	イライラ, つっけんどん	16.7	22.2	10.5	24.6	12.9	23.7
	不 満 が ある	2.8		3.5		3.2	
	何もしてあげない	0.0		5.3		3.2	
	別 居	2.8		1.8		2.2	
	対話を持ちたい	0.0		1.8		1.1	
	父として不安を感じる	0.0		1.8		1.1	
Rej (反応のないもの)		2.8		3.5		3.2	
合 計		100.0		100.0		100.0	

謝, 大切」11.8%が主なものであった。(一)の反応は23.7%であり, 「イライラ, つっけんどん」12.9%, 「不満がある」「なにもしてあげない」3.2%であった。初経妊婦別には(一)の反応で特徴的なことがみられる。初妊婦の場合, わがままで冷たい自分の態度を反省しているのに対し, 経妊婦は夫に対し不満や父親としての不安を感じる等, 夫に対する要求の反応が多くみられた。

(3) 私が妊娠して夫の変わったことは(表IV-3)

(+)の反応は77.4%で, 内容は「やさしくなった」21.5%, 「いたわりと責任感」「協力してくれ, 張り切る」17.2%, 「子供をみられる」15.1%が主なものであった。(一)の反応では「さびしくなった」が1.1%あり, 「別になし」が21.5%にみられた。初経妊婦別にみ

ると, (+)の反応で初妊婦は夫がやさしくなったことをあげ, 経妊婦は夫が子供をみられるようになったことに感謝を示している。

以上, 領域IV 夫婦の関係についてまとめる。

夫婦関係としては仲がよく, 夫に対してはよい妻であると自負し, 尊敬と信頼, そして夫のやさしさやいたわりの態度に対し感謝するという, 妻としての満足感が多く感じられる。しかし夫との関係に不満を持ち, 夫が父親になることへの不安や, 妊娠しても変化の感じられない夫への苛立ちの感情も見受けられる。

5. 領域V 女性性について

(1) もし私が男だったら(表V-1)

ここでは女性を受容した反応を(+)とし, それ以外の反応を(-)とした。(+)の反応が38.7%, (-)の反応が58.1%であった。(+)の内

表IV-3 領域IV 夫婦の関係

項目 私が妊娠して夫の変ったことは

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	やさしくなった	38.9	83.3	10.5	73.7	21.5	77.4
	いたわりと責任感	19.4		15.8		17.2	
	協力してくれ、張り切る	19.4		15.8		17.2	
	子供をみてくれる	0.0		24.6		15.1	
	たばこをやめた	0.0		3.5		2.2	
	父親らしくなった	2.8		1.8		2.2	
	親子の本を読む	2.8		0.0		1.1	
	喜んでくれた	0.0		1.8		1.1	
-	別になし	13.9	16.7	26.3	26.3	21.5	22.6
	さびしくなった	2.8		0.0		1.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		0.0		0.0	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表V-1 領域V 女性性

項目 もし私が男だったら

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	女のほうがよい	33.3	41.7	24.6	36.8	27.9	38.7
	考えたことがない	5.6		7.0		6.5	
	大変だろうな	2.8		5.3		4.3	
-	大きな仕事をする	30.6	52.7	12.3	61.4	19.4	58.1
	やりたいことをする	13.9		19.3		17.2	
	楽だろう、独身でいる、遊ぶ	0.0		10.5		6.5	
	育児を手伝う	2.8		7.0		5.4	
	世の中の男のように	2.8		7.0		5.4	
	ここにはいない	0.0		3.5		2.2	
	不安にならないだろう	2.8		0.0		1.1	
	男の子がほしい	0.0		1.8		1.1	
Rej (反応のないもの)		5.6		1.8		3.2	
合 計		100.0		100.0		100.0	

容は「女のほうがよい」27.9%、「考えたことがない」6.5%であった。(+)の内容は「大きな仕事をする」19.4%、「やりたいことをする」17.2%が主なものであり、その他「楽だろう、独身でいる、遊ぶ」等男性願望が大きく現れている。

(2) 私は女として(表V-2)

(+)の反応が74.2%、(-)の反応が22.6%であった。(+)の内容は「幸せ、楽しく、のんびり」とが19.4%、「今の自分にまあまあ満足」12.9%、「成長してきた」11.8%が主なもので、(-)の内容は「自覚に乏しい」「女らしくない、駄目な女」が7.5%、「男がよかった」3.2%であった。

表V-2 領域V 女性 性
項目 私は女として

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	幸せ, 楽しく, のんびりと	25.5		15.8		19.4	
	今の自分にまあまあ満足	8.3		15.8		12.9	
	成長してきた	13.9		10.5		11.8	
	子供が産めてうれしい	11.1	75.0	8.8	73.7	9.7	74.2
	女として生まれてよかった	8.3		8.8		8.6	
	やさしく, 美しく, かわいい	5.6		8.8		7.5	
	母のようになりたい	2.8		1.8		2.2	
	家庭を守りたい	0.0		3.5		2.2	
-	自覚に乏しい	11.1		5.3		7.5	
	女らしくない, 駄目な女	5.6		8.8		7.5	
	男がよかった	2.8	19.4	3.5	24.5	3.2	22.6
	魅力が劣しい	0.0		3.5		2.2	
	甘えがある	0.0		3.5		2.2	
Rej (反応のないもの)		5.6		1.8		3.2	
合 計		100.0		100.0		100.0	

(3) 乳房 (表V-3)

(+)の反応が87.1%; (-)の反応が6.4%と(+)の反応が多くなっている。(+)の内容は「大きくなった, 張っている」「母乳を, 赤ちゃんにあげたい」がそれぞれ38.7%と最も多く, その他「母親の実感」「マッサー

ジをしている」等であった。(-)の内容は「陥没乳頭」「張らない, 小さい」「元に戻るか心配」であり, すべてが経妊婦であった。

(4) 私のからだは (表V-4)

(+)の反応が59.1%, (-)の反応が26.9%で

表V-3 領域V 女性 性
項目 乳 房

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	大きくなった, 張っている	47.2		33.3		38.7	
	母乳を赤ちゃんにあげたい	38.9		38.6		38.7	
	母親の実感	2.8	94.4	5.3	82.4	4.3	87.1
	マッサージをしている	5.6		3.5		4.3	
	女性のシンボル	0.0		1.8		1.1	
±	診 断	0.0	0.0	1.8	1.8	1.1	1.1
-	陥 没 乳 頭	0.0		5.3		3.2	
	張らない, 小さい	0.0	0.0	3.5	10.5	2.2	6.4
	元に戻るか心配	0.0		1.8		1.1	
Rej (反応のないもの)		5.6		5.3		5.4	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表V-4 領域V 女性性
項目 私のからだは

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	健 康	25.0		22.8		23.7	
	たくましく、大きい	25.0		15.8		19.4	
	日々母親らしくなる	8.3		5.3		6.5	
	おもしろい、不思議	8.3	66.7	1.8	54.4	4.3	59.1
	正常なお産ができる	0.0		7.0		4.3	
	大切にす	0.0		1.8		1.1	
±	変 化 し た	2.8		12.3		8.6	
	小 柄	0.0	2.8	1.8	14.0	1.1	9.7
-	動くのが大変	5.6		8.8		7.5	
	元に戻るか不安	8.3		7.0		7.5	
	体力がない	2.8		7.0		5.4	
	異常ないか心配	2.8	22.2	3.5	29.8	3.2	26.9
	お産にむいていない	2.8		1.8		2.2	
	みっともない	0.0		1.8		1.1	
Rej(反応のないもの)		8.3		1.8		4.3	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表V-5 領域V 女性性
項目 性

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	尊 い, 神 秘	16.7		7.0		10.8	
	家族計画, 子供が欲しい	8.3		8.8		8.6	
	大切にしたい	11.1		5.3		7.5	
	女性に感謝	11.1	50.0	3.5	33.3	6.5	39.8
	喜 び	2.8		3.5		3.2	
	うまくいっている	0.0		3.5		2.2	
	誰もが知っている	0.0		1.8		1.1	
±	性はどちらでも	8.3		14.0		11.8	
	男 と 女	11.1		5.3		7.5	
	一言で言えない	5.6	30.5	8.8	45.6	7.5	39.8
	性教育はむずかしい	2.8		7.0		5.4	
	そ の 他	2.8		10.5		7.5	
-	関 心 な し	2.8		3.5		3.2	
	男は分からない	0.0		1.8		1.1	
	性交は面倒	0.0	5.6	1.8	8.8	1.1	7.5
	話し合いはむずかしい	0.0		1.8		1.1	
	心 配	2.8		0.0		1.1	
Rej(反応のないもの)		13.9		12.3		12.9	
合 計		100.0		100.0		100.0	

あった。(+)の内容は「健康」23.7%、「たくましく、大きい」19.4%、「日々母親らしくなる」6.5%が多くみられた。(-)の内容は「動くのが大変」「元に戻るか不安」がそれぞれ7.5%あり、その他「体力がない」「異常なにか心配」等であった。

(5) 性 (表V-5)

(+)の反応が39.8%、(-)の反応が7.5%、(±)の反応が39.8%であった。(+)の内容は「尊い、神秘」10.8%、「子供が欲しい」8.6%、「大切にしたい」7.5%、「女性に感謝」6.5%が多くなっている。(-)の反応は「関心なし」「男は分からない」「性交は面倒」「話し合いはむずかしい」等であった。また反応のないものが12.9%と他の項目に比べ最も多かった。

以上、領域V女性性についてまとめてみる。

女性として幸せを感じ、今の自分に満足しつつ、男性に対するあこがれが感じられる。乳房やからだの変化については、大きくなることで、母親としての実感を深めているように思われる。そんな中で、元に戻るだろうかという不安の気持ちもある。性については様々な反応がみられ、尊いもの、大

切なもの、喜びと感じる反面、関心を示さないものもみられた。また反応のないものも多く、これは性に対する具体的イメージを描けないのではと思われる。

6. 領域VI 母親自身のことについて

(1) 私は子供の頃 (表VI-1)

(+)の反応は79.6%、(-)の反応は16.1%であった。(+)の内容は「元気、明るい、おてんば」43.0%、「内気、おぼあちゃん子」24.7%と多くなっている。(-)の内容は「病弱で心配をかけた」12.9%、その他「泣き虫」「わがまま」等であった。

(2) 私と兄弟は (表VI-2)

(+)の反応は72.0%、(-)の反応は17.2%であった。(+)の内容は「よい相談相手」52.7%、「兄弟はいたほうがいい」10.8%、「協力的」8.6%であった。(-)の内容は「喧嘩する」「あまり合わない」がそれぞれ5.4%、その他「ひとりっ子」「死別」等であった。

(3) 私が泣きたくなるのは (表VI-3)

この項目と次の項目は、誰との関係における反応かで分類した。

泣きたくなるのは身の出来事による葛藤であり、初妊婦の場合「思い通りにならな

表VI-1 領域VI 母親自身のこと
項目 私は子供の頃

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	元気、明るい、おてんば	36.1		47.4		43.0	
	内気、おぼあちゃん子	27.8		22.8		24.7	
	いたずら、気が強い	5.6	77.8	8.8	80.7	7.5	79.6
	幸福	2.8		1.8		2.2	
	子供がどこから生れるか	5.6		0.0		2.2	
-	病弱で、心配をかけた	16.7		10.5		12.9	
	泣き虫	2.8	19.4	1.8	14.0	2.2	16.1
	わがまま	0.0		1.8		1.1	
Rej (反応のないもの)		2.8		5.3		4.3	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表VI-2 領域VI 母親自身のこと
項目 私と兄弟は

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	よい相談相手	50.0		54.4		52.7	
	兄弟はいたほうがいい	13.9	72.2	8.8	71.9	10.8	72.0
	仲よし, 協力的	8.3		8.8		8.6	
±	2歳違い	2.8		1.8		2.2	
	きびしく育てられた	0.0	5.6	3.5	7.0	2.2	6.5
	弟がしっかりしている	2.8		0.0		1.1	
	私が母親役	0.0		1.8		1.1	
-	けんかする	5.6		5.3		5.4	
	余り合わない	5.6	13.9	5.3	19.3	5.4	17.2
	ひとりっ子	2.8		5.3		4.3	
	死 別	0.0		3.5		2.2	
Rej(反応のないもの)		8.3		1.8		4.3	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表VI-3 領域VI 母親自身のこと
項目 私が泣きたくするのは

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
	な い	13.9	13.9	12.3	12.3	12.9	12.9
子 供	子供が泣く, 夜泣き	5.6		10.5		8.6	
	子供のいたずら, 躰	0.0	11.1	12.3	38.6	7.5	28.0
	子供の病気	5.6		7.0		6.5	
	後悔するしかり方	0.0		8.8		5.4	
家 族	夫がわかってくれない	16.7		12.3		13.9	
	義父母とうまくいかない	5.6	22.2	7.0	19.3	6.5	20.4
母 親 自 身	思い通りにならない	27.8		12.3		18.3	
	つわりのとき	5.6		3.5		4.3	
	忙しいとき	2.8		3.5		3.2	
	妊娠前より涙もろい	2.8	44.5	3.5	24.5	3.2	32.2
	太ったので, 体の変形 つらいことを思い出して	5.6 0.0		0.0 1.8		2.2 1.1	
Rej(反応のないもの)		8.3		5.3		6.5	
合 計		100.0		100.0		100.0	

い」27.8%、「夫がわかってくれない」16.7%等,感情抑制の困難さがみられる。経妊婦の場合は「子供が泣く」10.5%、「子供のいたずら,躰」12.3%と,上の子供たちとの育

児上の悩みが大きい。

(4) 心配なことは(表VI-4)

初経妊婦共に子供のことが多く53.8%で,内容は「健康な子供が生まれるか」25.8%,

表VI-4 領域VI 母親自身のこと
項目 心配なことは

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
	考えていなかった	5.6	5.6	10.5	10.5	8.6	8.6
子 供	健康な子供が生まれるか	27.8	50.0	24.6	56.1	25.8	53.8
	育児の心配	19.4		12.3		15.1	
	上の子供の甘え	0.0		14.0		8.6	
	子供の健康や成長	2.8		5.3		4.3	
家 族	父母のこと	0.0	0.0	3.5	5.3	2.2	3.2
	夫の健康	0.0		1.8		1.1	
母 親 自 身	分娩ができるか	33.3	44.4	19.3	28.1	24.7	34.4
	これからの生活	2.8		7.0		5.4	
	沢山ある	5.6		1.8		3.2	
	母子家庭のこと	2.8		0.0		1.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		0.0		0.0	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表VI-5 領域VI 母親自身のこと
項目 私は将来

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	仕事, 趣味, 自分の生き方	8.3	88.8	36.9	82.4	25.8	84.9
	よい母親, よいおばあさんになる	19.4		10.5		14.0	
	子供を立派に育てる	16.7		7.0		10.8	
	子供と楽しく暮らす	19.4		5.3		10.8	
	明るい家庭	11.1		7.0		8.6	
	子供と話せる親	0.0		5.3		3.2	
	よい女性, よい妻	2.8		3.5		3.2	
	子供に頼らない	2.8		3.5		3.2	
	両親のように	2.8		1.8		2.2	
	強くなりたい	5.6		0.0		2.2	
車の免許をとりたい	0.0	1.8	1.1				
-	考えていない	2.8	5.6	7.0	12.3	5.4	9.7
	自由になりたい	2.8		1.8		2.2	
	自信ない, 不安	0.0		3.5		2.2	
Rej (反応のないもの)		5.6		5.3		5.4	
合 計		100.0		100.0		100.0	

「育児の心配」15.1%等である。また分娩が乗り越えられるかとの心配も初妊婦に多くみられた。初妊婦で「沢山ある」「母子家庭」

等は具体的に解決が図られなければならない。

(5) 私は将来 (表VI-5)

(+)の反応が84.9%を占めていた。内容は

「仕事や趣味を持ちたい」25.8%、「よい母親になる」14.0%、「子供を立派に育てる」「子供と楽しく暮らす」がそれぞれ10.8%と多かった。(－)の反応は9.7%で不安や自信のなさを訴えていた。初経妊婦別にみると、初妊婦はよい母親になり、子供との楽しい生活に夢を持つ反応が多く、経妊婦は仕事や趣味を持ち、自分の生き方を考える反応が多かった。

(6) 困り果てたとき私は(表Ⅵ-6)

(+)の反応が76.3%で、そのほとんどが相談相手を求めた反応であった。その相談相手は「夫」30.1%、「誰か」11.8%、「母」10.8%が主なものであった。また「気にしない、悩まない」「子供の顔を見て励む」「強くなる」等自分自身で解決しようとする反応も経妊婦に多くみられた。(－)の反応は19.4%で「一人悩む」「泣きたくなる、投げ出す」がそれぞれ7.5%、その他「静かになる、口を閉ざす」「子供に八つ当たりする」であり、内向

表Ⅵ-6 領域Ⅵ 母親自身のこと
項目 困り果てたとき私は

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	相 談 す る	夫 に	36.1	77.8	26.3	75.4	30.1
		誰 か に	11.1		12.3		11.8
		母 に	13.9		8.8		10.8
		夫 と 母 に	2.8		5.3		4.3
		友 達 に	0.0		5.3		3.2
	両 親 に 頼 る		8.3		5.3		6.5
	気にしない、悩まない		5.6		5.3		5.4
	子供の顔を見て励む		0.0		3.5		2.2
	強くなる		0.0		1.8		1.1
	ゆっくり食べて寝る		0.0		1.8		1.1
－	一 人 悩 む	5.6	19.4	8.8	19.3	7.5	
	泣きたくなる、投げ出す	8.3		7.0		7.5	
	静かになる、口を閉ざす	5.6		1.8		3.2	
	子供に八つ当たりする	0.0		1.8		1.1	
	Rej(反応のないもの)	2.8		5.3		4.3	
合 計		100.0		100.0		100.0	

的な反応がみられた。

(7) 仕事(表Ⅵ-7)

仕事は「できればしたい」20.4%、「子供が手を離れたら」15.1%など働くことに積極的なものが多くみられるが、現実の生活の中で育児と仕事を如何に両立させるか、いずれに専念するかは女性にとって大きな課題となる。その決断が子供との関係に影響を与えな

いよう感情の整理も必要となる。

(8) 親友は(表Ⅵ-8)

(+)の反応が76.4%を占めていた。内容は「相談、励まし、理解」21.5%、「必要な存在、いつまでも大切にする」20.4%、「妊娠を喜んでくれた」17.2%が主なものであった。(－)の反応は20.4%で「遠くで会えない」16.1%、その他「夫だけ」「少ない、いない」の内容

表VI-7 領域VI 母親自身のこと
項目 仕 事

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	できればしたい	22.2		19.3		20.4	
	子供が手を離れたら	13.9		15.8		15.1	
	夫の仕事を理解する	8.3		12.3		10.8	
	今は子育て	16.7	69.4	5.3	77.2	9.7	74.2
	家庭を守ることに	2.8		12.3		8.6	
	仕事にでることはない	5.6		10.5		8.6	
	まず子供を産んで	0.0		1.8		1.1	
±	適当にさぼりながら続ける	13.9		5.3		8.6	
	産 休 中	2.8	16.7	0.0	5.3	1.1	9.7
-	やめるとき悲しかった	8.3		8.8		8.6	
	一生の仕事をもちたかった	0.0	11.1	3.5	12.3	2.2	11.8
	才能がない	2.8		0.0		1.1	
Rej (反応のないもの)		2.8		5.3		4.3	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表VI-8 領域VI 母親自身のこと
項目 親 友 は

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	相談, 励まし, 理解	22.2		21.1		21.5	
	必要な存在, いつまでも大切に	25.0		17.5		20.4	
	妊娠を喜んでくれた	25.0		12.3		17.2	
	今は手紙と電話	8.3	86.1	5.3	70.2	6.5	76.4
	沢山持ちたい	2.8		5.3		4.3	
	うらやましがる	2.8		3.5		3.2	
	時々会う	0.0		5.3		3.2	
-	遠くで会えない	11.1		19.3		16.1	
	夫 だ け	0.0	13.9	3.5	24.5	2.2	20.4
	少ないほうがよい	2.8		0.0		1.1	
	い な い	2.8		0.0		1.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		5.3		3.2	
合 計		100.0		100.0		100.0	

であった。

(9) 夫の親と私は(表VI-9)

(+)の反応が62.3%で, その内容は「よい関係, 仲よし」48.4%, 「よく話し合う, 気持ちが通じる」8.6%が主なものであった。

(-)の反応は2.2%で「気が合わない」「うまくいかない」であった。(±)の反応は33.3%で, 「一緒に暮らす」8.6%, 「気を使う, 遠慮がある」「別居で気楽」が主な内容であった。

表VI-9 領域VI 母親自身のこと
項目 夫の親と私は

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	よい関係, 仲よし	58.4	75.0	42.1	54.3	48.4	62.3
	よく話し合う, 気持ちが通じる	8.3		8.8		8.6	
	尊 敬 する	2.8		3.5		3.2	
	世 話 になる	5.6		0.0		2.2	
±	一緒に暮らす	5.6	19.4	10.5	42.1	8.6	33.3
	気を使う, 遠慮がある	0.0		12.3		7.5	
	別居で気楽	5.6		8.8		6.5	
	時々合う	5.6		7.0		6.4	
	まずまず, 気にしない	0.0		3.5		2.2	
	死 亡	2.8		0.0		1.1	
-	気が合わない	2.8	2.8	0.0	1.8	1.1	2.2
	うまくいかない	0.0		1.8		1.1	
Rej (反応のないもの)		2.8		1.8		2.2	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表VII-1 領域VII 母親自身の親子関係
項目 母 は

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	やさしい, あったかい	22.2	86.1	12.3	87.7	16.1	87.0
	孫の誕生を待つ	13.9		14.0		14.0	
	尊 敬 できる	8.3		17.5		14.0	
	心配してくれる	2.8		15.8		10.8	
	健 康	5.6		7.0		6.5	
	大変だった	5.6		5.3		5.4	
	働 き 者	8.3		3.5		5.4	
	さっぱりしておもしろい	11.1		0.0		4.3	
	大切な存在	0.0		5.3		3.2	
	の ん き	5.6		1.8		3.2	
	そ の 他	2.8		5.3		4.3	
-	わ が ま ま	0.0	5.6	1.8	7.0	1.1	6.5
	一人で暮らす	2.8		0.0		1.1	
	子供の世話はしない	0.0		1.8		1.1	
	家事はしない	0.0		1.8		1.1	
	イメージがわからない	2.8		0.0		1.1	
	亡 くな った	0.0		1.8		1.1	
Rej (反応のないもの)		8.3		5.3		6.5	
合 計		100.0		100.0		100.0	

以上、領域Ⅵ母親自身のことについてまとめてみる。

母親自身の過去、現在、将来における情緒をみているが、子供の頃は元気、活発が主な反応でよい思い出が多い。泣きたくなるのは、感情の抑制ができないことや、夫や家族、経妊婦では上の子供など人間関係による問題が大きい。それぞれの項目における(－)の反応や、友達もなく漠然として耐えてゆくことについては注意を必要とする。

7. 領域Ⅶ 母親自身の親子関係について

(1) 母は(表Ⅶ-1)

(+)の反応は87.0%で、その内容は「やさし

い、あったかい」16.1%、「孫の誕生を待つ」「尊敬できる」がそれぞれ14.0%、「心配してくれる」10.8%、その他「健康」「働き者」等であり、母親に対する尊敬と感謝の気持ちが現れている。(－)の反応は6.5%で、「わがまま」「子供の世話はしない」「イメージがわからない」等で、母親に対する批判的感情として表現されている。

(2) 私は母と(表Ⅶ-2)

(+)の反応は83.9%で、内容は「仲がよい」67.7%、「同じ」15.1%であった。(－)の反応は11.8%で、「よくけんかする」5.4%、「いい、さびしい」3.2%、「余り合わない」

表Ⅶ-2 領域Ⅶ 母親自身の親子関係
項目 私は母と

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	仲 が よ い	66.7	77.8	68.4	87.7	67.7	83.9
	同じ、似ている	11.1		17.5		15.1	
	性格は違う	0.0		1.8		1.1	
-	よくけんかする	2.8	16.6	7.0	8.8	5.4	11.8
	いない、さびしい	5.6		1.8		3.2	
	余り合わない	5.6		0.0		2.2	
	親ばなれできない	2.8		0.0		1.1	
Rej (反応のないもの)		5.6		3.5		4.3	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表Ⅶ-3 領域Ⅶ 母親自身の親子関係
項目 母に甘えたこと

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	甘えている	41.7	80.5	49.1	77.2	46.2	78.5
	里帰りでいろいろ買ってもらう	22.2		12.3		16.1	
	子供の頃には甘えた	16.7		10.5		12.9	
	わがままを通す	0.0		5.3		3.2	
-	甘えない	11.1	13.9	19.3	22.8	16.1	19.3
	覚えていない	2.8		3.5		3.2	
Rej (反応のないもの)		5.6		0.0		2.2	
合 計		100.0		100.0		100.0	

2.2%であった。

(3) 母に甘えたこと (表Ⅶ-3)

(+)の反応が78.5%で、その内容は「甘えている」46.2%と最も多く、「里帰りていろいろ買ってもらおう」16.1%、「子供の頃には甘えた」11.8%であった。(-)の反応は19.3%で、「甘えない」16.1%、「覚えていない」3.2%であった。

(4) 父は (表Ⅶ-4)

(+)の反応は77.4%で、その内容は「やさしい」26.9%、「応援してくれる」21.5%、「健康でいて欲しい」9.7%、その他「立派、尊敬」「かわいがってくれる」等であった。(-)の反応は18.3%で、内容は「亡くなった」7.5%、「無口で話にくい」5.4%、「すぐ怒る、がんこ」2.2%であった。

表Ⅶ-4 領域Ⅶ 母親自身の親子関係
項目 父 は

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	やさしい	27.8	80.6	26.3	75.4	26.9	77.4
	応援してくれる	30.6		15.8		21.5	
	健康でいてほしい	2.8		14.0		9.7	
	かわいがってくれる	8.3		3.5		5.4	
	立派、尊敬、大きな心	2.8		7.0		5.4	
	大好き、気が合う	5.6		1.8		3.2	
	男の子がほしそう	0.0		5.3		3.2	
	母と暮らしている	2.8		1.8		2.2	
-	亡くなった	5.6	11.1	8.8	22.8	7.5	18.3
	無口で話にくい	2.8		7.0		5.4	
	亭主関白、昔かたぎ	2.8		3.5		3.2	
	すぐ怒る、がんこ	0.0		3.5		2.2	
Rej (反応のないもの)		8.3		1.8		4.3	
合 計		100.0		100.0		100.0	

(5) 私は父と (表Ⅶ-5)

(+)の反応が55.9%、(-)の反応が33.3%であった。(+)の内容は「仲のよい親子」21.5%、「よく話をする」「よく似ている」がそれぞれ10.8%、「一緒に暮らしお茶を飲む」7.5%が主なものであった。(-)の内容は「気が合わない、意見が違う」が25.8%とほとんどを占め、その他「母に心配かけないで」「他人です」「記憶にない」等であった。また反応のないものが10.8%にみられた。

(6) 父に甘えたこと (表Ⅶ-6)

(+)の反応が49.4%で、内容は「いつでも甘

える」16.1%、「世話をしてもらおう」14.0%、「物を買ってもらおう」8.6%、「頼みをきいてもらおう」7.5%が主なものであった。(-)の反応は44.1%で、内容は全て「父に甘えたことはない」であった。(4)の母に甘えたことと比較しても、父親への甘えの感情は少なく、密着度は薄いと考えられる。

(7) 父と母は (表Ⅶ-7)

(+)の反応は78.5%、(-)の反応が14.0%であった。(+)の内容は「仲よし」30.1%、「妊娠を喜び、孫をかわいがる」18.3%、「目標、大事な人」12.9%、「元気」8.6%が主なもの

表Ⅶ-5 領域Ⅶ 母親自身の親子関係
項目 私 は 父 と

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	仲のよい親子	27.8		17.5		21.5	
	よく話をする	8.3		12.3		10.8	
	よく似ている	13.9		8.8		10.8	
	一緒に暮らしお茶を飲む	5.6	61.1	8.8	52.6	7.5	55.9
	近くにいたい	2.8		1.8		2.2	
	尊敬する	2.8		1.8		2.2	
	頼りにする	0.0		1.8		1.1	
-	気が合わない, 意見が違う	22.2		28.1		25.8	
	少し距離がある	0.0		5.3		3.2	
	母に心配かけないで	2.8	25.0	1.8	38.6	2.2	33.3
	他人です	0.0		1.8		1.1	
	記憶にない	0.0		1.8		1.1	
Rej (反応のないもの)		13.9		8.8		10.8	
合 計		100.0		100.0		100.0	

表Ⅶ-6 領域Ⅶ 母親自身の親子関係
項目 父に甘えたこと

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	いつでも甘える	27.8		8.8		16.1	
	いろいろ世話をしてもらう	11.1		15.8		14.0	
	物を買ってもらう	8.3		8.8		8.6	
	頼みを聞いてもらう	11.1	63.9	5.3	40.4	7.5	49.4
	旅行に出かけるとき	2.8		1.8		2.2	
	遊んでくれた	2.8		0		1.1	
-	な し	25.0	25.0	56.1	56.1	44.1	44.1
Rej (反応のないもの)		11.1		3.5		6.5	
合 計		100.0		100.0		100.0	

であった。(-)の内容は「仲がわるい」6.5%、「母一人でかわいそう」3.2%、「会話がなし」1.1%であった。

以上、領域Ⅶ母親自身の親子関係についてまとめてみる。

母親自身の親子関係が、これからの母子関係に関連することが予測される。母親への感

情は(+)の反応「やさしい」「仲がよい」がほとんどであり、母に甘えないなどは要注意である。父親との関係は、母親との関係とは反応を異にして淡泊であり、愛着感情は少ないと思われる、これからの親子関係を考える参考となる。

表Ⅶ-7 領域Ⅶ 母親自身の親子関係
項目 父 と 母 は

反 応 内 容		初妊婦(%)		経妊婦(%)		合 計(%)	
+	仲 よ し	27.8		31.6		30.1	
	妊 娠 を 喜 ぶ	19.4		17.5		18.3	
	よい両親, 目標, 大事な人	11.1		14.0		12.9	
	元 気	5.6	72.2	10.5	82.4	8.6	78.5
	老後を楽しむ	2.8		5.3		4.3	
	相 談 相 手	2.8		3.5		3.2	
	遊びに行くこと喜ぶ	2.8		0.0		1.1	
±	心 配 症	5.6		3.5		5.4	
	仲がよいのかわるいのか	0.0	8.3	1.8	5.3	1.1	6.5
-	けんか, 仲がわるい	11.2		3.5		6.5	
	母一人でかわいそう	2.8		3.5		3.2	
	世代のの違い	0.0	19.5	3.5	10.5	2.2	14.0
	孫が早すぎるという	2.8		0		1.1	
	会 話 が ない	2.8		0		1.1	
Rej (反応のないもの)		0.0		1.8		1.0	
合 計		100.0		100.0		100.0	

考 察

1. 初妊婦と経妊婦の母親像

妊娠による生理的負担, それにもまして生命の危険の多い出産を前に, 不安や悩みの増大は当然のことと受け取れる。しかしその揺れ動く感情は妊娠, 出産の経験の有無によって様相を異にしている。

領域Ⅰ, 領域Ⅱについてみると, 初妊婦では領域Ⅰの母親と胎児の関係は, 領域Ⅰ(3)の出産を除いてポジティブな情緒を示している。初妊婦のポジティブな反応として, 精神的に妊娠して安心した19.4%, 胎児に対して配慮するようになった11.1%と, いずれも精神的な変化を認めている。さらに胎動の自覚により胎児の存在を認識するもの44.4%であり, 胎児に対して愛情を感じるもの25.0%である。ネガティブな反応としては, 出産に対する不安は44.4%と多く, 子供を育てることは

苦勞61.1%, 不安8.3%, 子供が泣きやまないと悲しい, 困る, 一緒に泣くなどの反応がみられた。子供との関係について, 反応のないもの8.3%, 子供へのイメージのわからないもの2.8%, 無事育てられるかという不安は25.0%など, 初妊婦では, 妊娠について情緒的な色彩をもち, 観念的の反応が多くみられた。

経妊婦では領域Ⅱの母親と子供の関係において, 領域Ⅱ(5)の私は母親として以外にポジティブな反応が多い。経妊婦のポジティブな反応として, 出産については不安と期待が大きいながら, 頑張ろうとする積極的な姿勢がみられる。また, 領域Ⅱの子供との関係では, 経験から具体的なイメージを持つことができ, 領域Ⅱ(2)の子供を育てることでは, 苦勞としながらも楽しみと思うものが31.6%である。また領域Ⅱ(3)の私の子供はきっとでは, 元気ですくすく育つ, よい子との期待感が多い。ネガティブな反応としては, 領域Ⅱ(5)の

私は母親として、まだまだよい母にはなれない33.3%と母親失格の反省がみられ、経妊婦では、現実的な母親イメージを持つことができています。

以上のことから、母と子のきずなを深めるためには、初妊婦には育児に対する具体的な知識や技術の指導が必要であり、経妊婦では母親と子供の関係修正についての方策を考えさせ、援助することが必要であると考えられる。

2. 母親の愛着関係の発達と家族関係

母親としての感情は、個人的性格と生育歴の影響によるところが大きい。しかし愛着感情の発達は、妊娠中期以降において25%程度の妊婦にみられるという報告²⁾もある。従って、妊娠中は母と子の愛着感情発達の準備期として非常に重要な時期となる。出産後は直接子供との関わりのなかで発達し、父親はその関わりを援助する役割を果たすことによつて一層緊密さを増し、すこやかな関係が作られていくものと考えられる。

今回の調査は、妊娠36週(10カ月)でもあり、高率に愛情を認めることができた。しかしわずかながら10カ月になっても妊娠を喜ぶことのできない反応もみられることから、妊娠を受容し、よい母親像の発達への援助が重要となる。

家族関係については、領域Ⅲ、領域Ⅳにおける夫との関係では、経妊婦の夫では特に無関心を示す夫が多く、観念的に理解されても実際的に行動としていたわりの少ない傾向であった。

領域Ⅶにおいて、母親自身の親子関係では、父親との関係は淡泊であり、父母との関係についても、心理的距離があるもの、またその質的内容においても注意を必要とする。いずれにしても、夫との関係や、家族との関係に

おいて協力が得られるように、よりよい関係づくりに努めさせるための指導が必要であると考えられた。

おわりに

妊婦の感情の動揺を発見することは、実際にはなかなかむずかしい面がある。文章完成法(SCT)による感情の記述は、一般的感情とは異なる感情表現に注目することができ、個別に対応するきっかけを導くことが可能となる。

よい母と子のきずなをつくるためには、妊婦の背景を知り、家庭の状況に適応した指導管理を継続して行い、改善を図っていくことが重要である。

文 献

1 引用文献

- 1) 川井 尚：妊娠期の心と母子関係，助産婦雑誌，138(6)：465-472，1984.
- 2) Klaus, M, H. : Maternal-infant bonding, 周産期医学, 113(4) : 2141-2146, 1983.

2 参考文献

- 1) 秋沢さと子：親との絆をどういかにすか一家庭内・学校内トラブルの深層心理，光文堂，1981.
- 2) 花沢成一：母性行動の成立，助産婦雑誌，135(9)：648-653，1981.
- 3) 細井啓子：文章完成法による成人女性の特徴，母性衛生，24：230-233，1983.
- 4) 古沢頼雄：発達初期の母子関係，助産婦雑誌，135(9)：654-660，1981.
- 5) Klaus, M. H., Kennell, J. H., 竹内徹他訳：母と子のきずな—母子関係の原点を探る，医学書院，1979.
- 6) 小林 登：赤ちゃん誕生—母と子のきずな，岩波書店，1984.
- 7) 松本清一：母性を考える，助産婦雑誌，138(4)：278-288，1984.
- 8) 佐野勝男他：精研式文章完成法テスト解説，

金子書店, 1982.

- 9) 小日向雅美: 母性性の発達, 妊産婦の心の動きを中心として, 助産婦雑誌, 141(6): 1004-

1010, 1987.

- 10) 岡部恵子: 母と子のきずなの出発点, 助産婦雑誌, 138(6): 458-464, 1984.

受付日: 1988年9月30日

受理日: 1988年12月9日